

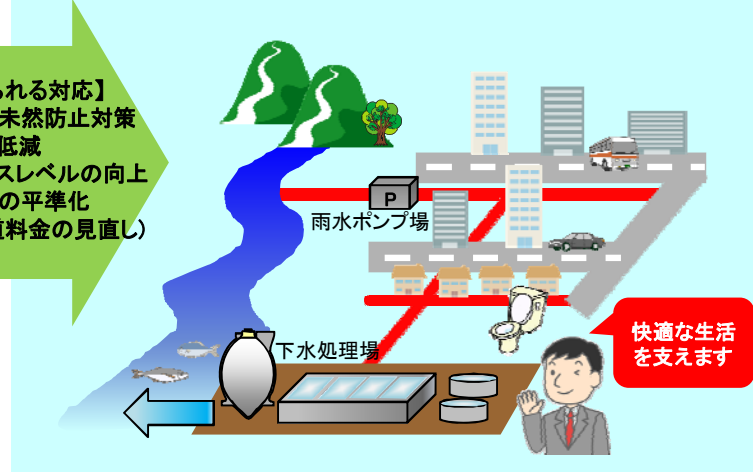
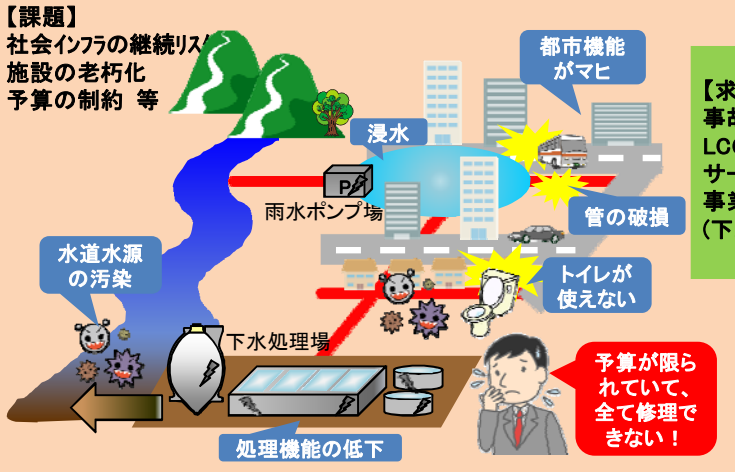
下水道をつかい続けるために

～いつまでも美しく安心できる生活をささえたい。

暮らしを支える下水道を守りたい。～

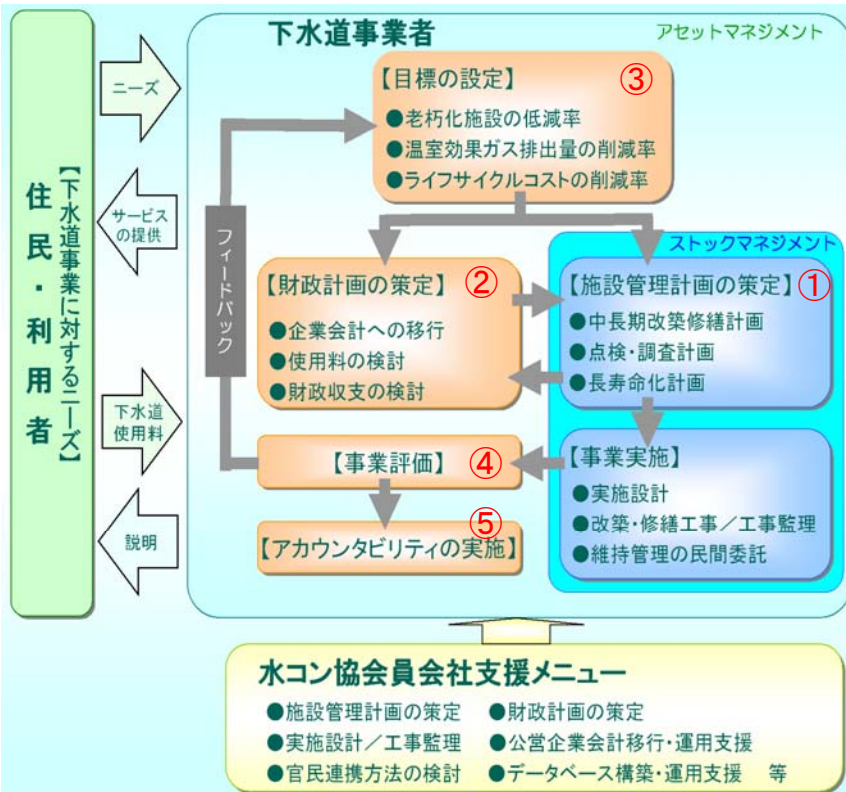
下水道施設が適正に運営管理されていないと...

下水道施設が適正に運営管理されていると...



いつまでも快適に使える下水道のために、適切な運営管理が必要です。私たちは限られた財源の中で、最適な管理計画を策定するのが重要と考え、そのための**事業体のアセットマネジメント導入をお手伝いします。**

アセットマネジメントのプロセスと効果



アセットマネジメントの導入により期待される効果

- 重大な道路陥没事故や下水道施設の機能停止を未然に防止できます。
- 適正な調査に基づき設備を交換していくので、効率的に下水道施設を改築していくことができます。(①)
- 事業費を平準化することで、財政の健全化を図れます。(①、②)
- 下水道の管理・運営の状況を業務指標等で「見える化」することで、住民や議会に対して説明責任が果たせます。(③、④、⑤)



Association Of Water And Sewerage Works Consultants Japan

一般社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 (通称 水コン協 AWSCJ)

「下水道をつかい続けるために」(説明資料)

●はじめに

私たちの生活は、様々な公共サービスに支えられて成り立っています。公共サービスにもいろいろありますが、インフラ（社会基盤）のサービスだけ挙げてみても、都市や農村基盤整備、交通（道路・橋・鉄道・港・空港）・治水・水道・下水道など様々であり、そのどれか一つがかけても、生活に支障をきたします。

ここでは下水道について、その役割とその機能が失われたとき、どうなるかを考えてみましょう。

●下水道の役割と機能確保

下水道は 適切な雨水の排除をおこない、浸水から生命や資産を守るはたらきや、私たちの生活や工場から排出された汚れた水(汚水)を適切に処理し、自然界に返すという、重要なはたらきを担っています。また、最近では資源循環系の重要な施設となっており、下水処理水の再利用や下水汚泥の処理過程で発生するメタンガス利用によるバイオガス発電等が着目されてきています。

それでは、下水道施設（管路・ポンプ場・処理場等）が適切に機能しないと、どうなるのでしょうか。

浸水被害の増大や、汚水が街中に溢れ出すことによる景観悪化や臭気被害だけでなく、伝染病の流行の原因ともなります。また、放流河川や海岸の水質汚濁がすすみ、水あそび、海水浴ができなくなるほか、水辺環境や景観も著しく損なわれることとなります。

また、下水道管渠の老朽化によって、管渠が破損し、道路陥没が起り、交通が遮断する等の事故も、おこります。処理場では電気設備の劣化により、火災を起こした例もあります。

そこで、未来永劫、機能維持のため、下水道施設を適切に管理することが極めて重要と考えます。

●限られた財源

昨今、国、地方自治体の財政状況は切迫しており、住民の高齢化に伴い、介護関係等の費用が増大してお

り、インフラ維持に回すお金は少なくなる傾向にあります。下水道の運営・管理に費やす費用も例外ではなく、年々、財政的にも厳しい状況になってきています。

●適切な運営管理とアセットマネジメント

下水道施設を適切に管理していくためには、下水道施設に関する情報や日常点検結果等から、これからの修繕や更新にかかる費用と時期を整理する必要があります。

さらに、財政見通しを立て、いつ、どのような維持管理・改築更新を実施するのかの計画をたてる必要があります。これを適切に実行するためには、アセットマネジメントの導入が不可欠です。

いままでのべた様々な課題を解決するために、各自治体で、アセットマネジメントを実施していただき、私たちコンサルタントは計画づくり等で積極的にお手伝いしようと思っています。

●アセットマネジメントとは、導入効果

アセットマネジメントとは、財政的裏付けを持って、施設を中長期的に計画的・効率的に管理する組織的な活動です。

アセットマネジメントを導入することによって

- ① 寿命予測やリスク算定により、重大な道路陥没事故や下水道施設の機能停止や事故を事前に防止できます。
- ② 機能とリスクとコストのバランスを考えますので、投資効率のよい、中長期、短期の管理計画をたてることができます。
- ③ 下水道をお使いの住民の方に、下水道料金の成り立ち等について、分かりやすい資料を提供することが可能となります。

●さいごに

私たちコンサルタントは、都市の静脈機能をもつ下水道の適切な管理・運営のお手伝いをすることで、安心して美しい暮らし・住環境をいつまでもささえていくことを使命と考えています。